

道徳科学習指導案（４年）

1 主題名 「度がすぎないために」 A—（３）節度，節制

2 資料名 「心の体温計」（出典 小学 どうとく ゆたかな心 ４年 光文書院）

3 主題設定の理由

（１）ねらいとする道徳的価値

本主題は、学習指導要領のA—（３）「節度，節制」の「自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をする。」に基づいたものである。中学年になると、他から言われるのではなく、自分でできることは自分で行ったり、自分で考えて行動したりする機会が増えてくる。そのため、わがままをしない規則正しい生活を大切にすることや、生活に一定のリズムを作ることが必要になってくる。

そこで、児童が学校や家庭における生活の中で、自分自身で考えて度を過ごすことなく、節度のある生活のよさを考えられることができるよう感得できるようにしたい。

（２）児童の実態

（略）

（３）教材について

ひろとは、テレビゲームのやりすぎ、テレビの見すぎで母親に怒られる。「あなたは、いつも度がすぎるのよ。」と母親からよく言われるのだが、「度がすぎる」とは、どういうことなのか、ひろとはよく分からないでいた。

体温計に例えて考えると、37度を越えるとあぶないということは分かる。しかし、ゲームやテレビをやりすぎたらあぶないという体温計はない。そこで、ひろとは、体と同じように「心の体温計」があったら度が過ぎないですむのか考えはじめた。

「度がすぎない」ように、自分なりにいろいろな方法を考えて実行してみたら、母親にしかられることも少なくなり、何だかすっきりした気持ちでいられることが多くなった。

4 指導の工夫

○事前指導として

- ・道徳「どっちがいいか」、「サッカーボール」（出典 小学 どうとく ゆたかな心 ４年）で、本時のねらいとする価値と関連のある規則やルールを尊重したり、善悪の判断について考えたりして、「度をすぎない」ために必要な要因の一部を学習した。
- ・上記の学習の事後指導と本時の学習「度をすぎない」ことと関連させ、学級活動として「協力のビー玉」を設定し、毎日取り組んでいる。（これは、全員がチャイム着席や授業準備をすることで、ビー玉が貯まる取組である。）達成するためには、一人一人が「度をすぎない」「ルールを守る」「善悪の判断をしっかりと行う」こと、「クラス全員で協力する」ことが求められる。この取組によって、児童はそのよさを実感し始めている。

○本時の学習として

〈導入〉

- ・事前に「度をすぎた」ことについてのアンケートを児童と保護者に実施することで、実態を把握し、児童の問題意識を高められるようにする。

〈展開〉

- ・登場人物の挿絵を提示することで、場面や内容を把握できるようにする。
- ・自分自身の生活において、学校や家庭で、度を過ぎてしまった場면을振り返ることができ、度を過ぎてしまったときの行動についての考えを深められるようにする。
- ・発問によって児童の机上にあるネームカードを操作することで、自己の考えを表現することができるようにする。また、消極的な児童でも意思表示ができるようにする。
- ・中心発問後の意見交流の場面で、問い返しの発問とゆさぶりの発問、意図的指名を行い、児童の価値理解や他者理解を深められるようにする。
- ・アンケート結果も想起させることで、今後の行動で大切なことを考えられるようにする。

〈終末〉

- ・ワークシートを使い、本時の学習で考えたことを整理させることで、今後の自分の行動に対する考えを深めさせていく。
- ・振り返りの場面では、保護者のアンケート結果を提示することで、自分自身の行動を実生活に置き換えて考えることで、今後の行動で大切なことを深められるようにする。

○事後指導として

- ・学年（学級）通信で、学習したことやアンケート結果を知らせ、家庭でも節度ある生活が送れるよう協力を依頼するなどをして、家庭との連携を図っていく。

5 校内研修との関わり

振り返りの場面で、自分の行動を心の体温計で考えさせたことやアンケート結果を想起させたことは、「主体的に学び、自分の考えを表現できる児童の育成」につながると考える。

6 本時の学習

(1) ねらい

度が過ぎないために、自分自身の生活を振り返ることで、節度ある生活をしようと工夫をする心情を育てる。

(2) 準備

ワークシート 場面絵 ネームマグネット アンケート結果

(3) 人権教育の視点

他者の考えや情報を踏まえ、自分の考えを整理し、節度・節制を考えて行動する。

(4) 展開

過程	学習活動	時間	○基本発問◎中心発問☆補助発問 ・予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。	10	○「度」のつく言葉はどんなものがあるかな。 ・温度、湿度、態度、角度、震度 など ☆「度」は何を表しているのかな。	・自分がわかっているにもかかわらずやめられないこと、また、それが原因で困ったり注意されてしまったりしたことなど、身近

	<p>・「度」に関する保護者アンケート結果から問題意識をもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数字、単位 など ○「度」が過ぎるとは、どういうことだろう。 ・調子にのること ・なかなか止めないこと ・やり過ぎてしまうこと ・わからない など ☆「度」が過ぎてしまって、困ったり、注意されたりしたことはあるかな。 ・ゲームをやりすぎて怒られた。 ・おしゃべりが止まらなくて先生に注意された。 など ☆ゲームや話をするのはいけないことかな。 ・いけないことではない。 ☆では、なぜ注意されてしまったのかな。 ・やめなければならないのに、やめられなかった。 	<p>なことから、「度」についての問題意識を高めて、価値への方向付けを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「度がすぎる」ということがわからない児童がいることが予想されるので、事前に保護者アンケートを実施し、保護者から見た児童の行動について結果を提示し、「度がすぎる」行動について気付かせる。 ・「度がすぎる」行動について、ネームカードで意思表示をすることで、自身の経験を振り返ることができるようにする。 <p>・児童の言葉でめあてをまとめる。</p>
	<p>めあて ・「度がすぎない」ために大切なことを考えよう</p>		
<p>展開</p>	<p>2 資料「心の体温計」の範読を聞く</p> <p>3 教材を通して道徳的価値についての考えをもち、交流する。</p>	<p>2 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ひろとさんの「度がすぎた」行動は何でしょう。 ・ゲームのやりすぎ ・テレビの見すぎ ・時間を守らない ○「度がすぎる」と言われたときのひろとさんはどんな気持ちだったでしょうか。 ・まだそんなにゲームをしていないよ ・いつもうるさいな。 ・今からやろうと思ったのに。 ○「度がすぎる」と言ったときのお母さんはどんな気持ちだったでしょうか。 ・早く明日の準備をしてほしい。 ・やるべきことはやってもらいたい。 ・しっかりしてほしい。 ☆ひろとさんは、なぜ「度がすぎる」までやってしまうのでしょうか。 ・楽しいから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろとの心情だけでなく、導入で考えた児童の意見を反映させて、自分事で考えることができるようにする。【他者理解】 ・登場人物の挿絵を提示することで、場面や内容を把握できるようにする。 ・「度がすぎた」と言われたひろとと、「度がすぎた」と言った母親の両者の気持ちに触れる。【他者理解】 ・お母さんの気持ちについて、友達のを聞き、自分の考えと比較することができるようにするために、ペアで意見交流させる。 ・二人が誰を中心として考えているのかを考えさせることで、両者の気持ちを理解でき

<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度考える。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・やめられないから。 ☆ひろとさんとお母さんの気持ちは誰を中心としているか考えよう。 ・ひろとさんは自分が中心。 ・お母さんはひろとさんを中心。 ☆ひろとさんが「度がすぎた」生活を送り続けていたら、二人はどんな気持ちになるでしょうか。 ・おたがいにいやな気持ちになる ◎ひろとさんが「度がすぎない」ように、考えて実行したのは、なぜでしょうか。 ・お母さんにおこられないようにするため。 ・健康に気をつけるため。 ・自分が大変になってこまらないようにするため。 ・お母さんに心配をかけないようにするため。 ・このままではいけないと思ったから。 ☆ひろとさんは、誰かに言われて行動したのでしょうか。 ・自分で変えた。 ☆ひろとさんのような行動をすれば、どのような生活が送れますか。 ・すっきりした気持ちで生活できる。 ・おこられないで生活できる。 ・忘れ物がなくなる。 ○「度がすぎない」ために大切なことを、ひろとさんの変化で確認しよう。 ・テレビやゲームの時間を決めた。 ・やりすぎないようにした。 ・次の日の準備を早くした。 ・お母さんの気持ちを考えた。 ・自分自身を変えた。 	<p>るようにする。【他者理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「度」がすぎてしまう行動を止めることは困難であることを理解させる。【人間理解】 ・ワークシートを使って自分の考えをまとめさせる。 ・「自分自身で何とかしよう」と行動したひろとさんの気持ちに気付かせる。また、行動したことで、すっきりとした生活が送れる良さに気付かせる。【価値理解】 ・ワークシートに書かせ、自分の意見を表現する。また、全体で意見交流を行い、多様な意見に触れる。【他者理解】 ・ひろとさんが自分を変えてすっきりしたことに気づき、自分事として考えることができる。【価値理解】
---	--	---	--

<p>終末</p>	<p>・本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。</p> <p>・保護者アンケートから、児童への節度に対するメッセージを聞く。</p>	<p>10</p>	<p>○心の体温計があったら、自分の行動で「度がすぎるかも」、「あぶないな」と思う温度は何度ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・37度 ・38度 <p>○「度」について、これまでやこれからの自分を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の日の準備を早めに行えるようにする。 ・自分の生活を見直していきたい。 ・自分と周りの人が気持ちよく生活できるようにしたい。 ・何事もやりすぎないようにしたい。 ・心の体温計を想像して行動したい。 	<p>・学校や家庭のそれぞれの場面で、自分の行動の「度」を心の体温計に視覚化し、自分なりの「度がすぎない」ための目安を考えさせる。また、人によって「度」に対する考えが違うことを理解する。【他者理解】</p> <p>・ワークシートに書かせ、自分の意見を表現する。また、全体で意見交流を行い、多様な意見に触れる。【価値理解】</p> <p>・保護者からのメッセージを紹介することで、自分自身の生活として捉えられるようにする。</p>
-----------	--	-----------	---	--

評価 ・度がすぎない良さについて、自分事として考えることができたか。
 ・節度について多面的・多角的に考えることができたか。

8 板書計画

